

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2004-43453 (P2004-43453A)

【公開日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2004-006

【出願番号】特願 2003-137413 (P2003-137413)

【国際特許分類第 7 版】

C 07 D 405/14

A 61 K 31/4545

A 61 P 1/14

A 61 P 43/00

// C 07 M 7:00

【F I】

C 07 D 405/14

A 61 K 31/4545

A 61 P 1/14

A 61 P 43/00 1 1 1

C 07 M 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 8 日 (2004.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

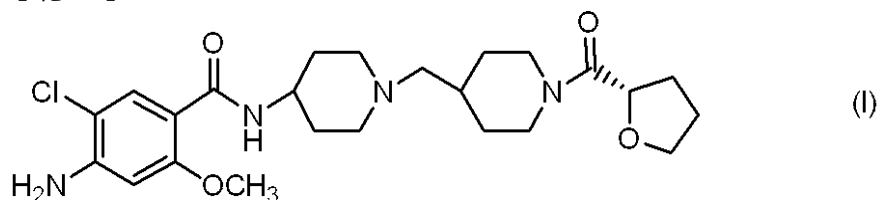
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (I)

【化 1】



で表される (S) - 4 - アミノ - 5 - クロロ - 2 - メトキシ - N - [1 - [1 - (2 - テトラヒドロフリルカルボニル) - 4 - ピペリジニルメチル] - 4 - ピペリジニル]ベンズアミド、その製薬学的に許容される酸付加塩又はこれらの水和物。

【請求項 2】

(S) - 4 - アミノ - 5 - クロロ - 2 - メトキシ - N - [1 - [1 - (2 - テトラヒドロフリルカルボニル) - 4 - ピペリジニルメチル] - 4 - ピペリジニル]ベンズアミド又はその水和物。

【請求項 3】

(S) - 4 - アミノ - 5 - クロロ - 2 - メトキシ - N - [1 - [1 - (2 - テトラヒドロフリルカルボニル) - 4 - ピペリジニルメチル] - 4 - ピペリジニル]ベンズアミド・フマル酸塩又はその水和物。

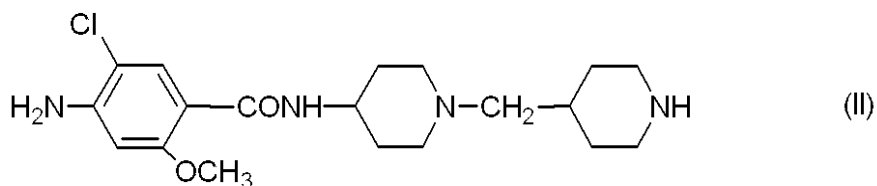
【請求項 4】

(S) - 4 - アミノ - 5 - クロロ - 2 - メトキシ - N - [ 1 - [ 1 - ( 2 - テトラヒドロフリルカルボニル ) - 4 - ピペリジニルメチル ] - 4 - ピペリジニル ] ベンズアミド・マレイン酸塩又はその水和物。

【請求項 5】

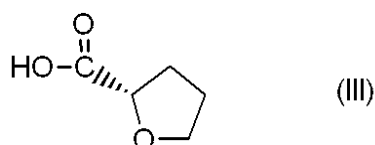
(a) 下記式 (I I)

【化 2】



で表される化合物に、下記式 (I I I)

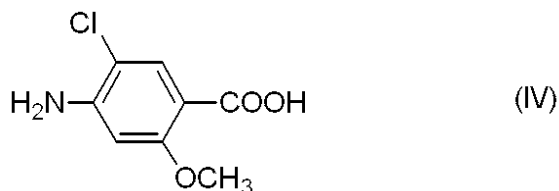
【化 3】



で表される (S) - テトラヒドロフラン - 2 - カルボン酸又はその反応性誘導体とを反応させるか、または

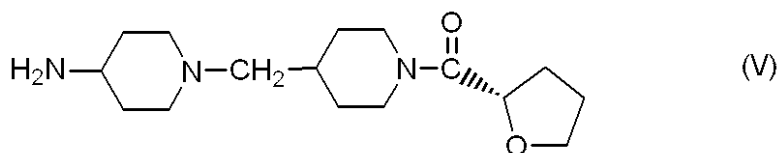
(b) 下記式 (I V)

【化 4】



で表される化合物またはその反応性誘導体と、下記式 (V)

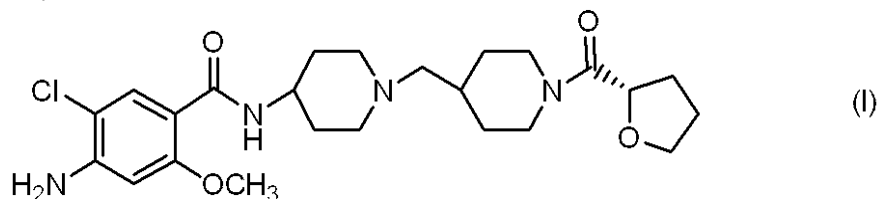
【化 5】



で表される化合物を反応させ、

必要に応じてその生成物をその製薬学的に許容される酸付加塩とすることにより、  
下記式 (I)

【化 6】

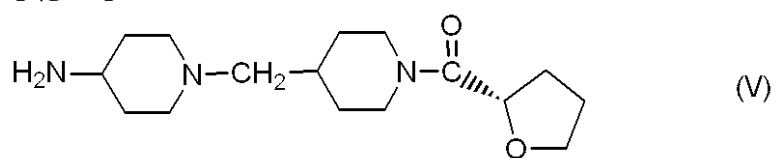


で表される (S) - 4 - アミノ - 5 - クロロ - 2 - メトキシ - N - [ 1 - [ 1 - ( 2 - テトラヒドロフリルカルボニル ) - 4 - ピペリジニルメチル ] - 4 - ピペリジニル ] ベンズアミド  
またはその製薬的に許容される酸付加塩を製造する方法。

【請求項 6】

下記式 (V)

【化 7】



で表される (S) - 4 - アミノ - 1 - [ 1 - ( 2 - テトラヒドロフリルカルボニル ) - 4 - ピペリジニルメチル ] ピペリジン又はその酸付加塩。